町議会だより

平成26年９月町議会定例会は、９月５日から12日までの日程で開かれ、次の内容について審議されました。

1. 平成25年度決算の認定

町の一般会計と５つの特別会計の平成25年度決算が承認されました。詳しくは、11ページのグラフをご覧ください。

2. 一般会計補正予算（第２号・第３号）

平成26年度中山町一般会計補正予算（第２号）について、災害復旧費として1,700万円を追加した専決処分が承認されたほか、同補正予算（第３号）について、２億3,888万円を追加した議案が原案のとおり可決され、予算総額は49億6,336万円となりました。

3. 特別会計補正予算（第１号）

平成26年度中山町特別会計補正予算（第１号）について、次のとおり可決されました。

	補正額	補正後の予算額	主な歳出補正の内容
国民健康保険	3,416万8千円	13億4,388万9千円	給付基金積立金
後期高齢者医療	100万6千円	1億1,676万8千円	保険料等負担金
介護保険	2,017万円	11億7,223万8千円	介護給付費準備基金積立金
農業集落排水	172万7千円	8,218万5千円	修繕料
公共下水道事業	710万8千円	4億7,128万3千円	管路清掃業務委託料

4. 条例の設定

中国残留邦人等の円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立の支援に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例の設定

中山町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の設定

中山町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定

中山町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の設定

5. 教育委員会委員の任命

中山町教育委員会委員に森谷憲一氏（金沢）を再任することを承認

6. 意見書の提出

手話言語法（仮称）制定を求める意見書

質疑応答

平成25年度決算・平成26年度補正予算

問　町税等の不納欠損や滞納整理事務の取扱規程は整備されているか。

答　法令等に基づいて行っており、町独自の規程は設けておりません。

問　平成25年度の不納欠損額が大幅に増えているが、収納対策を一層強化し、平均化を図るべきではないか。

答　各年度において滞納状況が違うため増減はありますが、適切な債権管理に努めていきます。

問　ひまわりグラウンドゴルフ場や最上川中山緑地は昨年度に続き冠水被害が発生したが、災害復旧に対する国からの助成や交付金等はあるのか。

答　国土交通省から町が借り受けて管理している場所であり、国からの助成その他はありません。

問　農業集落排水事業の豊田４地区について、今後の公共下水道への接続等の計画を伺いたい。

答　岡および土橋地区は、事務手続きについて平成30年頃を目途に進めています。その後、柳沢及び金沢地区の検討をしていきたいと考えています。

問　土砂災害危険区域住宅移転補助金の対象区域内の戸数は。

答　13区域134戸となっており、平成25年４月１日現在の人口は374人となっています。

問　石子沢川排水機場等管理業務を委託しているが、点検業務はモーターの電源を入れて点検を行っているか。また、過去にポンプが稼働しなかった事例はあったか。

答　国土交通省の基準に基づき、実際に排水ポンプを稼働させて点検しており、月々の結果報告では良好ということを確認しています。昨年７月18日の大雨の際には、始動が若干遅れたと報告を受けていますが、ほぼ良好な状態で動いていると認識しています。

問　ふるさと寄附金の高額納付に対する記念品を充実し、増収とともに町特産品の販売促進につなげるべきではないか。

答　当町では、寄附金額にかかわらずほぼ一定額の記念品を送っており、１万円の納付が全体の99％を占めています。高額納付に対し相応の記念品を準備している市町村もあることから、増収になるよう来年度に向け検討したいと考えています。

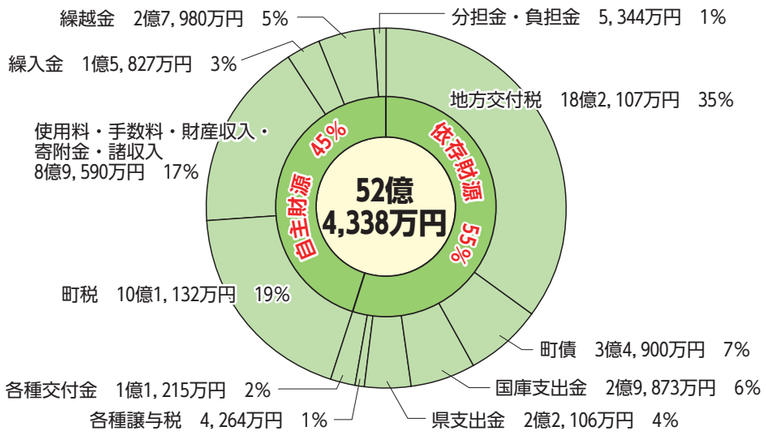
問　排水路整備工事における矢板引き抜き等により、個人所有の建物等に与えた損傷に対する補償金が補正予算に計上されているが、設計監理や町の管理体制に不備はなかったのか。

答　工事箇所や建物等の位置等から、この度の事象については予測されていたものですが、当初計画外の水道管や埋設物等への対処もあり、より事象が顕在化し補償に至ったものです。

問　地方特例交付金が２割以上減額

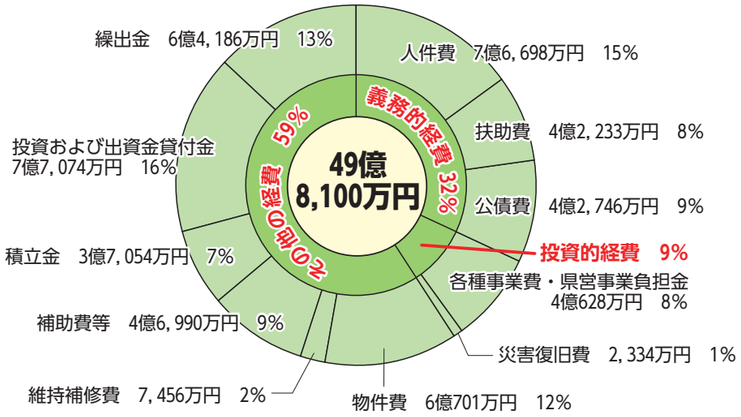
平成25年度決算

一般会計 歳入　地方交付税等減少するも、結果的に1.8％の増



前年度に比べ、地方交付税、県支出金が減少。また、町債の借り入れを抑制したが、国庫支出金が21.1％（5,200万円）、前年度繰越金が36.7％（7,512万円）、地域福祉基金繰入金およびひまわり温泉整備基金繰入金等の増により繰入金が38.9％（4,428万円）と大幅に増加したことなどから、歳入全体で見ると1.8％（9,428万円）の増となりました。

一般会計 歳出　歳出は2.3％増、実質収支２億1,504万円



投資的経費について、役場庁舎の耐震補強工事、役場来客用駐車場整備工事、消防ポンプ車購入などにより、単独事業において前年と比べ47.7％（9,875万円）の大幅な増加となったことが影響し、投資的経費全体で15.5％（5,762万円）の増となりました。

また、財政調整基金積立金及び地域福祉基金積立金の増などにより、積立金は9.7％（3,276万円）の増となりました。